

情報部会 議員・部会役員アンケート結果 概要

(対象件数：298件、回答数：74件、回答率：25%)

■分科会別回収件数

分科会名	回答数
メディア	8
印刷	11
情報処理・サービス	39
広告・サイン	10
紙・文具・ビジネス機器	6

問1. 貴社または業界の課題について、選択してください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	新卒・中途採用	54
2	社員の教育・育成	43
3	人材の定着	34
3	販路拡大	34
5	業務効率化・生産性向上	26
6	後継者不足	18
7	デジタル化対応	16
8	その他	2
	【その他】 下請け単金の高額化、人財不足	1
	事業モデルの改革	1

問2. 設問1で選択した課題について、現状をお聞かせください。

※一部抜粋

【新卒・中途採用】

- ・ 理工系の応募者が少ない。退職者が、辞める理由を聞く。対処する。賃金の高低で辞める人は、気持ちよく送る。
- ・ スキルを持ったエンジニアの確保に苦労している。
- ・ 中途採用はほぼできていない、新卒採用は年々厳しさを増している。
- ・ 人材獲得と給与水準の高騰。新卒、未経験者の採用後2, 3年後に退職といった育てた人材の流出。に対してこれといった決め手がないことに大きなジレンマを感じている。
- ・ 採用・人材定着については、放送局を希望する新卒人材の減少が顕著であることと、人材流動化における同業界や他業界への流出が見られる。
- ・ 人材不足で採用困難な状況は続いている。正確には、リモートワークの普及によりスキルの高い人材が首都圏と取り合いになり採用が困難になっている。

- ・採用専用のサイトやSNSを通じて、会社の事業内容にとどまらず、理念・文化や制度、また従業員の生の声など、会社の内情を「見える化」して応募者に積極的に情報発信するなど、それなりに工夫しているつもりである。（が、魅力不足と言われればそれまでである）何か知恵・アドバイスがあればいただきたい。
- ・近年、ハローワークを使った求人・採用は皆無である。
- ・社会のDX化推進ニーズ拡大を受け、業界全体の成長は今後も期待できるが、人材の確保が難しい。

【社員の教育・育成】

- ・リーダクラスの意識向上、管理職育成について課題を感じている。
- ・40代以上の中高齢者のITリテラシが特に低く、道内ではリスキリングはほとんど進んでいない。
- ・会社ビジョンの再構築と社員との共有が必要と感じている。これが機能すれば、社員の意識向上、スキルアップの礎になると考えている。
- ・社員の高齢化により教育・育成が難しい。
- ・Z世代の多様な価値観の受容、成長促進、モチベーションコントロール。
- ・中途採用向けIT教育が遅れているため、国全体のITリテラシが低い状況が続いている。また、40代以上の中高齢者のITリテラシが特に低く、道内ではリスキリングはほとんど進んでいない。このため、ITリテラシの高い20代・30代が上の世代に理解してもらえず、離職することが増えている。
- ・人材不足のため十分な教育時間が取れない。

【人材の定着】

- ・特殊な業務を行っているため、退職されると技術を継承するのが難しく、時間がかかってしまう。また、営業的な人員が少なく営業リソースが不足している。
- ・新卒の定着が年々悪い状況。
- ・経験者の中途応募が少ないため、未経験者の募集、採用も加えておこなっているが、未経験者の教育・育成、定着にも課題を抱えている。
- ・採用・人材定着については、放送局を希望する新卒人材の減少が顕著であることと、人材流動化における同業界や他業界への流出が見られる。

【販路拡大】

- ・コロナ禍の影響で首都圏のリモートワーク可能な案件も増えてきたものの、コロナ収束に伴いそうした案件も減ってきた。
- ・売上高が減少トレンドの中で、固定費の圧縮が必要。新規事業含む新たな収益確保が必要。
- ・従来の人月ビジネスから付加価値の高いビジネスモデルへの転換も必要。
- ・販路拡大はニアショアが課題（単金問題）

【業務効率化・生産性向上】

- ・各業務における効率向上（DX化）について進めて行く余地が多々あると感じており、着手したところ。
- ・生産年齢人口が減少する中で、国際競争力を維持し事業を継続するためには、業務効率化・生産性向上が必須であり、ワークライフバランス向上、人材の定着にも寄与すると考え取り組んでいます。

【後継者不足】

- ・ 後継者は、企業経営がリスクになることを知っているのに、なかなか経営者になろうという人材がない。
- ・ 後継者問題に関してはM&Aも選択肢の一つと考えている。

【デジタル化対応】

- ・ 少子高齢化・人口世帯数減・デジタル環境の変化に業界及び会社幹部が過去の経験から卒業していない。ビジネスモデルを改革する時期。
- ・ IT人材不足が現状の最重要課題であり、採用の拡大と離職防止を対策している。
- ・ デジタル化ではAIとの向き合い方を模索している。
- ・ 競争力を維持し事業を継続するため不可欠と考えて取り組んでいます。

【その他】

- ・ 旧来以前の印刷業の営業という概念からの脱却が必要である。

問3. 人材の流出についてお聞かせください。

No	選択肢	回答数
1	ある（少ない）	37
2	無い	22
3	ある（多い）	15

問4. 設問3で【ある】と回答された方にお聞きします。どこの地域に流れていますか。

No	選択肢	回答数
1	市内	28
2	首都圏	12
3	道内	6
4	関西	0
5	九州	0
6	その他	7

【その他】	地域は関係ない	3
	首都圏の企業だが市内在中	1
	道外	1
	その他	2

問5. 部会活動について、興味・関心があるもの。また、実施継続を希望する事業を選択してください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	補助金の情報提供（デジタル化促進補助金・IT導入補助金等）	39
2	業界別情報交換会	36
3	デザイン導入プロモーション事業（デザイン経営セミナー）	18
4	ニアショア推進事業（IT受注拡大支援）	17
5	視察研修会	14
6	クリエイティブ・オフィス見学会	12
7	業界職業体験事業(加チャナイト)(ミニさっぽろ)	5

問6. 情報部会として今後、取り組むべき事業についてお聞かせください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	情報提供・セミナー	48
2	補助金や助成金の情報提供	39
3	デジタル人材育成の強化	27
4	交流会・情報交換会	26
5	業界のPR活動	22
6	展示会・商談会の開催	17
7	事例紹介や視察研修会	13
8	各業界の専門家を通じた相談体制の強化	10
9	その他	3
	【その他】 生成AI研究会	1
	高齢者のリスクリング	1
	特になし	1

問7. 設問6で選択した事業について、希望する内容を詳しくご記入ください。

※一部抜粋

【情報提供・セミナー】

- ・道内産業のデジタル化、DX推進をテーマとした取り組み
- ・新規事業開発に役立てるべく、地域の課題解決、ソリューションビジネスに関係する情報を獲得したい

【展示会・商談会の開催】

- ・ビジネスマッチングとフォローアップ
- ・特定事業者へ効果的にアプローチするには道外での展示会の開催
- ・情報産業の展示会ではなく、ターゲットの業界に関わる展示会が望ましい。
- ・ブックフェス等の販売説明会

【業界のPR活動】

- ・業界のPRについてメディアも利用したイベント
- ・学生向けIT業界PR。Iターン、Uターン転職希望者向け道内IT業界PR。

【事例紹介や視察研修会】

- ・DX推進成功事例の紹介、視察研修
- ・顧客接点変化に対応した情報発信改革と自己資産を応用した新たなビジネスモデルの参考事例
- ・採用から育成までの好適事例

【デジタル人材育成の強化】

- ・人材教育については、40代以上をターゲットとしたリスキングを行い、若い人材を育成するための管理者・役員に向けての教育をITベンダーの経営者層に講師を依頼してほしい。
- ・デジタル人材の育成のための勉強会などが有ると嬉しい。
- ・生成AI研究会（学術レベルを超えて、「社会実装」の可能性を探求してみたい。（実際にどんなシーンでどんな課題に対しどれくらいのことが可能か）

【補助金や助成金の情報提供】

- ・設備投資（機械関連）の補助金
- ・補助金の申請方法や種類が分かるセミナー
- ・カーボンニュートラルに対応した補助金や助成金の情報提供を希望します

【各業界の専門家を通じた相談体制の強化】

- ・販売、管理、生産等の各業務内容の問題点の相談
- ・自社内での業務消化で困難な場合、他社との連携で、新しい提案が出来る可能性がある、協力して対応する事が必要。

【交流会・情報交換会】

- ・同業者交流会 ・ 人事交流会 ・ 異業種交流会 ・ 産学連携を主とした交流会

【その他】

- ・行政ができることを案内してください
- ・補助金や助成金情報も大事だが、次のビジネスにつながる国、道、市のコンペ等の募集情報を希望します。

問 8. 今後、どのような業界・業種との交流を希望しますか。（例：観光業、食品製造業）

No	業種	回答数	内訳
1	観光関連業	10	観光 8 飲食 1 宿泊 1
2	製造業	7	製造 4 半導体 2 食品製造 1
2	卸・小売業	7	卸 2 小売 4 不動産 1
4	農業・漁業	6	農業 4 漁業 1 一次産業 1
5	建設業	4	建設 3 土木 1
6	医療・福祉業	3	医療 3
6	情報通信業	3	I T 3
6	流通業	3	運輸 2 流通 1
9	行政・自治体等	1	自治体 1
10	サービス業	0	
10	金融・保険業	0	
12	その他	8	全て 6 学校 1 海外展開企業 1 アニメ産業 1 特になし 3 7
13	特になし	37	

問 9. 働き方改革について、現在取り組んでいるものを選択してください。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	テレワークの導入	55
2	特別休暇の導入	33
3	フレックスタイム制度	23
4	ノー残業デー	19
5	兼業・副業の容認	16
6	フリーアドレス制	15
7	集中スペース等の設置（ABW）	8
8	取り組んでいない	4
9	週休3日制	0
10	その他（記述）	7
	【その他】 半日休暇、時短勤務	2
	男女育休取得制度、時短勤務、産業医	1
	持ち株制度によるインセンティブ	1
	時間外の抑制、有休取得奨励	1
	DX推進	1
	職員の希望をよく聞く	1

問 1 0. 【取り組んでいない】を選択した方 その理由について、お聞かせください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	情報不足	3
2	時間が無い	2
3	コストや資金面	1

問 1 1. 貴社のオフィスづくりで心掛けている事、実施している取組があれば、選択してください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	コミュニケーションが取りやすい環境づくり	52
2	セキュリティの強化	44
3	社員のモチベーション向上	42
4	環境への配慮	18
5	地域社会への貢献	15
6	なし	3
7	その他	0

問 1 2. 具体的な取り組み内容をお聞かせください。

※一部抜粋

- ・ 男女育休取得制度、主婦(主夫)社員の時短もしくはリモート勤務の推奨、産業医による健康診断後の就業判定実施、キャリアコンサルティングによる社員相談
- ・ 月一の全体会議。定期的な飲み会や勉強会。
- ・ I S Oを含めて現在実施していることの全員への周知徹底。
- ・ Web会議システムによる打ち合わせ等の実施。
- ・ ラボットの導入、全社でのチャット、セキュリティ強化のためにカードキーの導入とISMSの取得など。リモートワークを全員月6回取得できるようにしている。
- ・ 開発環境の充実(2画面)、テレワーク環境、コミュニケーションツール導入。
- ・ ISMSやプライバシーマークなど個人情報監査など拡充していく
- ・ 情報セキュリティ強化と個人情報保護法に触れる書類などは鍵のかけられる部屋に保存。オフィス入口のセキュリティを強化。
- ・ SCD(セルフキャリアドック)の採用、実施
- ・ 全社員フリーアドレスによるA B Wの取組。コミュニケーション活性による知識継承と向上。
- ・ 家庭最優先にしており、そのことが全体的な社員のモチベーションに繋がっております。
- ・ コミュニケーションツール利用促進、部門裁量強化、子供向けプログラミング教室
- ・ リフレ休憩スペースの設置スペースの設置/業務場所の自由性
- ・ 自社サーバー設置、信頼性の高いクラウド運用
- ・ 編集セクションと他部署とのファイアウォール。
- ・ e-ランニングの活用、学んだ時間を、時間外勤務として、承認する。
- ・ 地域活性への奉仕
- ・ フードドライブなど
- ・ 弊社で開発する案件は、社会貢献度が高い物であることを認識している。

問 1 3. 貴社の業務でデジタル化したものについて教えてください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	情報共有・コミュニケーション	57
2	会計処理・帳簿	53
3	勤怠管理	49
4	顧客・販売管理	48
5	各種書類の電子化	43
6	会議・商談	41
7	社内稟議・決裁	36
8	ネット広告	14
9	特にしていない	3
10	その他	3
	【その他】 提案書、PR資料、事例など	1
	契約書 請求書	1

問 1 4. 【特にしていない】を選択した方 その理由について、お聞かせください。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	コストや資金面	2
1	情報不足	2
3	時間がない	1
3	デジタル人材不足	1
3	効果が分からない	1
6	相談先が分からない	0
7	その他	0

問 1 5. 貴社のデジタル化推進に対し、現在抱えている課題はありますか。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	コストや資金面	33
2	人材不足	32
3	業務上の問題	15
4	ツールの選択	14
4	特に課題は無い	14
6	情報不足	12
6	旧システムとの互換性	12
8	取引上の問題	8
9	その他	0

問 1 6 . 貴社の D X 化への取組みについて、お聞かせください。

No	選択肢	回答数
1	既に行っている	50
2	これからの予定	16
3	予定はない	8

問 1 7 . 【既に行っている、これからの予定】を選択した方、貴社の D X 推進に対し、現在抱えている課題は何ですか。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	コストや資金面	29
2	人材不足	26
3	技術の選択	15
3	セキュリティ	15
5	組織風土	11
6	特に課題は無い	10
7	戦略が未だ不明確	4
8	その他	2
	【その他】 今最良最適なツールを導入しても次々に良いテクノロジーが生まれ頻繁に見直しを迫られる	1
	社員のITリテラシー	1

問 1 8 . デジタル化・D X 推進に関して希望する、会議所事業は何ですか。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	知識・技術の情報提供	38
2	補助金や助成金の情報提供	35
3	デジタル人材の育成	29
4	展示会・商談会の開催	14
5	事例紹介や現場見学	13
6	ITベンダーや専門家への相談	10
7	その他	4
	【その他】 中高年齢層に向けての教育	1
	生成AI研究会)	1
	特になし	2

問19. ChatGPTをはじめとした生成AIの進化は、貴社にとって機会となりますか。脅威となりますか。

No	選択肢	回答数
1	機会となる	38
2	どちらとも言えない	32
3	脅威となる	4

問20. 上記の理由をお聞かせください。

※一部抜粋

【機会となる】

- ・ 生成AI技術は、業務効率化、生産性向上に有効に活用できると考えます。
- ・ 業務の効率化で利用している。CharGPTのような大規模言語モデルは高速なサーバがあれば実現できるので、全く脅威には思っていない。大規模言語モデルは、自分で考えて学習するニューラル・ネットワークを形成する一要素である。ニューラル・ネットワークができるまでAIは特に脅威にはならないと予測している。
- ・ 提供するシステムに組み入れることによる利用価値増大の可能性
- ・ 制作過程においての効率化に寄与できると思う
- ・ 業務の効率化に役立つ可能性があるため。
- ・ 効率化につながる
- ・ 提案書作成などの情報ツールとして作成補助が可能。反面、情報が正確かという検証も必要。
- ・ 人、デジタル、AIの融合、協業
- ・ 情報収集及びライティングの草案原稿の作成、画像の合成など多岐にわたり機会となります。
- ・ 生成AIは、相当な時間労力を要した領域のことを、瞬時に、高精度に実現可能とするポテンシャルを秘め、更に物凄いスピードで進化を続けている。自社の経営に取り込むことは勿論のこと、それにとどまらず、当社の本業、お客様の経営課題を解決できる商材として生成AIを社会実装した形で取扱い、お客様への導入支援をも視野に入れて取り組んでみたいと考えています。
- ・ AIをツールとしたビジネス開発ができると考えているから。
- ・ 基本アイデアの提案
- ・ お客様が、生成AIの限界が見えると、現実な目線でDXに取り込もうとしてくれる場面をいくつか見てきた
- ・ 顧客への提供価値（営業員の品質）均一化
- ・ AIによる生産性の向上が期待できる
- ・ 導入を検討する企業への技術提供といった商機となる
- ・ 知的財産権との整合や、機密情報管理などの整理すべきリスクは多くあるものの、番組制作や内部での資料作成・データ管理などでの業務効率化、新規事業への足掛かりなどに活用ができるのではと考えているため
- ・ 応用力がアップする。
- ・ 生成AIを使用したサービスが提供できる為。
- ・ 新たなものへの取り組みの可能性が広がる。
- ・ すでに生成AIを、一部使いながら動いている部分が出てきて、時間短縮に有効な事はわかっているため、今後は、進んでいくと思われる。

【脅威となる】

- ・ ソフトウェア開発工程の一部AI化により、上流工程への軸足シフトが必要となる。

【どちらとも言えない】

- ・ 中長期的にみると生成AIの成長(精度向上)により開発の工数は激減する可能性がある
と考える。これは経営計画でそこで発生する余裕人財リソースを活用できる機会と考
える。その一方で、自らが能動的に考え行動できない「指示待ち」社員にとっては自身の仕
事が奪われることになり、人財減になる可能性はある。そのまま行けば脅威にはなるが、
意識改革の場を設けることによってどれだけ減少を抑えるかがポイントになると考える。
- ・ 今後、生成AIが当社の事業にどのような影響をあたえるか、今のところ判断できないため。
- ・ 弊社の仕事の受注量が増えるか減るか、判断がつかない。
- ・ 信頼性の観点から、現時点で調査には使えないと考えている。
- ・ 単純作業は生成AIにとってかわられるかもしれないが、逆にそれ以外の部分においては優
位性をアピールできる可能性がある
- ・ 現在ではよくわからない使用実績がないし周りにもまだ使っていないので
- ・ C h a t G P Tがよくわかりません
- ・ 判断が難しい面がございませぬ。
- ・ どうなるか良くわからない
- ・ 業務効率化に資する面がある一方で、当社がライツ保有するコンテンツが無断使用される
恐れがある（著作権が侵害される）
- ・ 現在の事業との関連が不明
- ・ 生成AIが業務にどれだけ影響するか自体が把握できていない。
- ・ 現状でもメリット、デメリット双方がみえる。まったくさわらないというスタンスではないが、「なに
をどこまで」はまだ明確ではない。
- ・ 専門的な領域でCHATGPTが使えるのか実証していないので
- ・ 著作権問題など様々な課題を抱えており、日本では遅れている規制を早急に進めない
と、社会全体の脅威になる。
- ・ 生成AIについては積極的な導入は行っていないが、今後の事業ではいろいろな形で絡む
ものと考えており、利便性の観点で機会となり得るが、現在の事業で脅威となる要素はで
ていない。
- ・ 使いかた、使われ方がまだ不透明だから

問 2 1. カーボンニュートラルに向けた、貴社での取り組みについてお聞かせください。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	LEDや高効率機器の導入	46
2	エネルギー使用量やCO2排出量の把握	21
3	長期的な脱炭素計画の策定	7
4	太陽光パネルの設置	6
5	専門家による省エネ診断の実施	5
6	その他	19
	【その他】 取組んでいない	14
	これ以上は無理	1
	新社屋建替時は取組を盛り込んだ設計を検討	1
	ペーパーレス化の推進	1
	カーボンニュートラル推進に向けたサポート	1
	エコ商材の販売	1

問 2 2. 人材確保・定着のために取り組むべき最重要課題は何であると思われますか。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	賃上げ、募集賃金の引き上げ	54
2	人事孝課・給与制度の見直し	37
3	人材育成・研修制度の充実	33
4	オフィス等の職場環境整備	27
5	福利厚生 of 充実	24
5	テレワークやフレックスタイム制等の柔軟な働き方の推進	24
7	兼業・副業の許可	12
8	その他	2
	【その他】 若手、子育て世代の可処分所得増大に向けた賃金体系へのシフトを検討（各種手当、賞与、退職金などを充実させるより基本給、月給を底上げ）	1
	会社の魅力づくり	1

問 2 3. 次世代半導体製造メーカー「ラピダス」の千歳進出により、貴社や業界にどのような影響がありますか。

No	選択肢	回答数
1	どちらとも言えない	41
2	プラスの影響	18
3	影響がない	13
4	マイナスの影響	2

問 2 4 . 上記の理由をお聞かせください。

※一部抜粋

【プラス】

- ・ 大きな半導体市場が北海道にできることで、物・金・人のためのシステムやサービスが活性化すると考える。それらをサポートする城下町が形成されるので、結果として直接取引がなくても恩恵があると思う。ラピダス社と直接取引できるように営業を行うつもりでもある。
- ・ 製造業の産業活性化が期待できる。ただ、人手不足に拍車はかかるであろう。
- ・ ラピダスへの直接関与による売上の見込み及び関係会社の景気による売上の向上が期待できる。
- ・ 半導体製造には直接関係は無いが、北海道 = 半導体のイメージ付き、そこからIT全般の最先端エリアのイメージが出来上がると面白いと思う。
- ・ 周辺関連産業の進出に伴う人材採用ニーズの発生
- ・ 北海道経済全体の隆盛、取材対象としての魅力
- ・ 取り上げるべき話題が明らかに増えた。指摘すべき論点も多く、メディア特性から考えても、重要テーマとなっている。
- ・ 北海道が、新技術の集積地として、世界の舞台に躍り出る。

【マイナス】

- ・ 人材がますます奪われる。建築費高騰。（本社屋建て替えタイミングの見極めが難しい）

【どちらとも言えない】

- ・ ラピダス内で導入されるシステムの構築などの案件は出てくると思われるのでプラス要因にはなるかもしれないが、保守などに関わらない限りは永続的に続くものではないため。ただ、周辺のエリアの環境が活性化することによって、ビジネスチャンスが出てくる可能性もあるかもしれない。
- ・ 当社の事業にどのような影響をあたえるか、今のところ判断できないため
- ・ マイナスにはならないと思うが、受注に直結するかはまだ判らない。
- ・ 販路拡大要素と人材面では競合
- ・ 道内経済が全体に上向きになれば、多少好影響があるかもしれない。
- ・ 映像制作業へのプラス要素を生み出すには営業活動が重要と思われるため。
- ・ 仕事は増えそうだが、採用等が困難になりそうなの
- ・ プラスの影響：開発案件の受注の可能性
マイナスの影響：技術者の取り合いの恐れ
- ・ 当社の業務への影響が計れない。
- ・ あまり関係ない。CPU関係の使える物が出来れば、つかえるが、何が生産されるのか、不明なため。
- ・ 雇用に関わる賃金基準が高くなる懸念は出ているが、業界、業種への影響はまだ見えていない（ソフトウェア開発技術者への影響）
ラピダスの進出により、関連する案件が増え受注量への好効果が表れる影響も考えられる。
- ・ 支社の営業活動にプラスに働く部分が有るのか、現状読めていないが、なるべく自社が関われる部分を探していきたい。
- ・ まだどのようなマーケットが生まれるかわからない

【影響がない理由】

(回答なし)

問 2 5 . コロナ以前と比べた現在の貴社の資金繰り状況について教えてください。

No	選択肢	回答数
1	不変	46
2	好転	20
3	悪化	8

問 2 6 . 現在、当所の広報誌「さっぽろ経済」は紙媒体のほか、HP上でウェブ版を公開しています。ペーパーレスの観点から、今後の発行方法についてお聞かせください。

No	選択肢	回答数
1	ウェブ版のみでよい（紙媒体は不要）	40
2	現状のままでよい（紙とウェブ版の両方）	28
3	紙媒体のみでよい	3
4	その他	3
	【その他】 Webのみだと見過ごす情報が出てくる感じがする	1
	暫くは現状のままが良いが数年以内にはウェブ版だけでもよい	1

問 2 7 . 燃料・原材料高騰等の価格転嫁について、貴社の状況をお聞かせください。

No	選択肢	回答数
1	一部価格転嫁できていない	37
2	価格転嫁できていない	20
3	価格転嫁できている	11
4	その他	6
	【その他】 影響はない	3
	業態的に大きな相関がない	1
	敢えて価格転嫁していない	1

問 2 8 . その他、弊所の活動に関するご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

- ・ いつも弊社業務をサポートしていただきましてありがとうございます！各分野で本当に活用させていただいております！
- ・ 引き続き会員企業に有益な情報の発信等を期待しております
- ・ 部会を超えたコミュニケーションの場を増やすことを希望します
- ・ アフターコロナを見据え、リアルイベントも強化してほしい。人材育成に関してはIターンなどの取り組みも必要。他県に比べて札幌市はふるさと納税をうまく利用出来ていないと思う。
- ・ マッチングイベントと情報交換の場を多くしていただきたい
- ・ 道内全域の事業者支援を行っている身としては、札幌商工会議所の素晴らしさを理解しております。（他所では経営相談がない地域などもありますので）。
- ・ 商工会議所の様々なセミナーイベントがあるが、講師役としてどのような基準・プロセスで選考されているのか知りたいところです。
もっと相応しい方がおられたり、逆になぜこの人？と疑問に思うケースもたまに見受けられるので。